



FLOWER BULBS SINCE 1955

株式会社 中村農園

NAKAMURA-NOEN CO.,LTD.

〒781-0270 高知県高知市長浜 5381
5381, Nagahama, Kochi 781-0270, Japan

☎0120-874195 (ハナヨイキューコン)

Tel. (088)841-1311 Fax. (088)841-0603

E-mail: info@nfb.co.jp URL: http://www.nfb.co.jp

お客様各位

情勢報告

2022年9月7日

株式会社 中村農園

中村 慶吾

いつもお世話になっております。

2022年南半球産の収穫結果等について、簡単にご報告させていただきます。

① 後半になって収穫が大きく遅延

ニュージーランドでは、収穫期後半に倉庫作業員の一部でコロナの集団感染(濃厚接触につき自宅待機等)が起き、予定していた作業シフトが行えないなどの影響が出ました。

チリは、多くの生産地で概ね予定通りの収穫でしたが、バルディビアでは2週間(以上?)雨が続き圃場に入れず、後半の収穫作業が大幅に遅延しました。産地、品種により、収穫結果の報告が6月下旬~8月盆明けまでと幅があり、入荷時期もそれに準じております。

② 2022年南半球産の輸入球数 (=冬~春の切花生産量)

弊社が8月末に輸出会社に行ったアンケートでは、日本向けの販売球数は、下表の通り大幅な減少となりました。(表中“%”と“差”は、前年同時期のアンケートとの比較です)

	LA	オリエンタル OT	合計	昨年同期比
ニュージーランド	0	12,498,125	12,498,125	92.4%
チリ	244,600	5,800,259	6,044,859	90.2%
合計	244,600	18,298,384	18,542,984	91.7%
昨年同期比	108.6%	91.5%	91.7%	
昨年同期差	19,350	△1,703,966	△1,684,616	

春(3月)調査時点で既に前年実績(2034万球-植防統計)を下回っておりましたが、ついに大台の2000万球を切り、1900万球にも届かない非常に厳しい結果となりました。

10年前、2012年南半球産の輸入実績2785万球(内LAが427万球)と比較すると、今年は1/3も減少したことになり、冬から春にかけてのユリは希少なものとなっています。

ユリは安定した需要がありますが、計画的な高品質切花用球根は、欠品時の代品対応が難しく、収穫結果がそのまま輸入球数(=切花生産量)に反映される傾向があります。

これはオランダ産も同様で、日本のユリ生産を増やせなかった大きな要因の一つです。

改めて、現地の生育調査と肥大調整の精度を高め、ショートを最小限にできるように輸出会社・球根生産者に求めていきたいと思っております。皆様には大変ご迷惑おかけいたしました。

代品のご相談は、担当営業へお問合せ頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

以上